

使ってみてみて → ハクマッチ?

能楽堂利用料
9,000円

樂屋1室
2,000円

りゅーとぴあ
能楽堂(樂屋)

能楽堂 楽屋で楽しいお茶会 ≥ 11,000円也

りゅーとぴあ能楽堂は、能・狂言以外にも講演会やバイオリンの発表会など様々な催し物の舞台としてご利用いただけます。しかし注目は舞台だけではありません。能楽堂の樂屋はお茶会の会場としても利用できるんです。楽屋ごとに炉・暖炉を設置する事が可能で、お茶を囲んでいる方ならご家族、お友達などなたでもお茶会を楽しむことができます。金縛も驚きのロープライス。樂屋裏には竹林をイメージした中庭があり、風情たっぷりの茶会になりそうですよ。

施設利用お問い合わせ TEL.025-224-5621
(9:30~18:00)

例: 平日午前の貸し切り茶会としたら

能楽堂利用料(午前区分)	9,000円
樂屋1室	2,000円
合計	11,000円

能楽堂利用料であっても能楽堂自体の利用料が発生いたします。
※貸し出し用のお茶会用具は別途使用料がかかります。
※樂屋裏下に暖房を整く場合、暖房のためにお手出しいただくことがあります。(暖房に毛せんを使用する場合は別途使用料がかかります)

施設利用お問い合わせ TEL.025-224-5621
(9:30~18:00)

交通のご案内

- 新潟駅より車で7分
- 関越自動車道/磐越自動車道新潟中央I.C.より車で18分
- 新潟駅万代口よりバスで「信濃町」行で「市役所前」下車徒歩7分
「新潟県庁」行で「陸上競技場前」下車徒歩5分
「昭和大橋経由・入船町」行で「白山公園前」下車徒歩2分
- 新潟空港より車で27分

白山公園駐車場のご案内

- 白山公園駐車場A.B.C.D合わせて約500台
- 身障者用駐車場スペースを用意しております。
- りゅーとぴあには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、自家用車は白山公園駐車場(有料30分100円)をご利用いただけますが、混雑する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

駐車場のお支払いは、プリペイドカードがたいへん便利でお得です。2,000円のカードで3,000円分駐車場をご利用いただけます。りゅーとぴあ1Fの自動販売機でお買い求めください。

開館時間 / 9:00~22:00 休館日 / 第2・第4月曜日(祝日の場合は開館・翌日休)

感動は自由席

りゅーとぴあ
新潟市民芸術文化会館

RYUTOPIA MAGAZINE vol.2 2005年7月20日発行

発行 / りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 〒951-8132 新潟市一番堀通町3番地2(白山公園内)
TEL.025-224-7000(事業課) <http://www.ryutopia.or.jp>

◆上記金額は税抜小売の取扱で算出したものです。正確な料金の
細かな内容・利用条件でかわりますので、ご相談ください。

CONTENTS

SPECIAL ISSUE: 「冬物語」
interview:演出家・栗田芳宏
舞台を彩るこの人に聞く:それとも「冬物語」
「冬物語」もうひとつの醍醐味

SPOTLIGHT interview「イッセイ尾形」

THE PERFORMER 表現者たち

感動の余韻 IMPRESSION VOICE

ENTERTAINMENT CALENDAR

アートを楽しむエンタメマガジン
りゅーとぴあマガジン vol.2

感動は自由席
RYUTOPIA MAGAZINE

りゅーとびあ能楽堂
シェイクスピアシリーズ
第三弾

能の世界に触れることから稽古は口火を切った。

能舞台でシェイクスピアを演じる、りゅーとびあ能楽堂シェイクスピアシリーズの最新作がいよいよ動き出しました。3作目となる今回の演目は「冬物語」。シェイクスピアの中でも隠れた名作と言われる作品です。稽古は、能楽師の栗田芳宏氏から能の歴史や基礎知識、基本動作などを学び、能の世界に触れることからスタート。原点に立ち戻り、檜舞台に上ることの意味を再確認、さらに洗練された作品づくりを目指します。期待が高まる9月の公演に向けて、いちはやくその内容をリポートします。

>> 新潟公演 9月7日~11日
>> 東京公演 9月18日・19日

日本人の心に届くシェイクスピアを。

りゅーとびあ能楽堂シェイクスピアシリーズの構成・演出を手がけている栗田芳宏氏に「冬物語」についてインタビュー。今回の作品のみどころをうかがいました。

シェイクスピアを能楽堂で演じる。誰もがミスマッチな感覚や違和感を覚えると思うんですよ。でもね、本質を極めていくと、このふたつは実に共通する部分があるんです。シェイクスピアはイギリスの古典とも言われていますが、その醍醐味は言葉にあります。舞台装置などに頼らず、言葉でどんどんイメージーションを広げていくのが魅力なんです。一方、能はというと、こちらもセットや舞台装置などない世界で、演者の所作であたかもその場面を創り出す世界です。いわば、言葉を表現する場として能の舞台というのはまさにうってつけの空間とも言えるわけです。りゅーとびあ能楽堂シェイクスピアシリーズは、一切のムダをそぎ落として、言葉の世界を表現する、そんなシンプルだけれど内容の濃い作品を目指しているのです。

シリーズは、これまでの「マクベス」「リア王」、そして「冬物語」と3作目になりますが、全体を通して統一感などはありません。それぞれの作品はまったく違ったものなので、一作一作、ゼロから作り上げています。今回の「冬物語」は、シェイクスピアの作品の中でも隠れた傑作と言われていますが、舞台での成功例をあまり聞きません。だからこそ、是非手がけてみたかったし、どんな作品になるのか僕自身も楽しみにしています。音楽や踊りがない作品なので、さらに言葉の持つ意味が際だってきます。みどころは、どの場面がというより、全体を通して「時間」ということが哲学的に語られていくところになるでしょう。言葉の美しさや、舞台上の張りつめた空気と視覚的な美しさが感じ取れる舞台を目指しています。シェイクスピアは難しいと敬遠されている方はもちろん、日本人の心にも届く作品にしたいですね。舞台を通じていかに「時」というものが大切であるかを伝えたいと考えています。

第一弾「マクベス」
2004年5月 新潟・東京、6月 東京
演出／栗田芳宏 作曲／宮川彬良
出演／河内大和・名和和嘉子・荒井和真・田部眞之・柳澤良・
谷垣茂彦・山賀靖代・田島真弓・横山道子・塙野夢美・
横山愛・塙野星美・岡田光恵
演奏／宮川彬良・鶴松仁

第二弾「リア王」-靴法師-
2004年12月 新潟・東京、2005年1月 大阪・名古屋
演出／栗田芳宏 作曲／宮川彬良
衣装／時広真吾 ヘアメイク／妻妻淳子
出演／白石加代子・塙野夢美・塙野星美・町屋美咲・
住田彩・田島真弓・横山道子・横山愛 他
演奏／宮川彬良・鶴松仁

1



栗田芳宏 Yoshihiro Kurita
りゅーとびあ・アンシエイト・ディレクター。
「シャンポーの森で眠る」で本格的演出家デビュー。主な演出作品「大正四姫怪談」「オーファンズ」「ハムレット」など多数。りゅーとびあ能楽堂シェイクスピアシリーズを一貫して手がけると共に、「家なき子」や「ビリーとヘレン」など新潟から多くの作品を発信。また、後進の指導にも情熱を注いでいる。

キャスト

谷田歩

Ayumi Tanida

誰が観ても楽しめる舞台に。

シェイクスピアの作品は台詞も長く、役作りも難しい面があります。さらに今回は能楽堂での公演ということで、役者としては取り組み甲斐のある舞台になりそうです。能やシェイクスピアというと難しそうなイメージが先行しますが、誰が観ても分かりやすく、楽しんでもらえるようにしたいと思っています。男の嫉妬心から生まれる狂気。ぜひ観に来てください。



舞台を彩るこの人に聞く。“シテ”と“ワキ”それぞれの冬物語

キャスト

中井出健

Ken Nakade

リアルに伝わる王様の狂気を。

僕自身、冬物語を舞台でやるのは4回目ですが、毎回違った楽しさがあると感じています。今回は能舞台での公演ということで、まさに英國の古典と日本の古典がいかに融合する興味深い舞台になると感じています。演技する上でのテーマはシンプルに分かりやすく表現するかだと思います。王様の狂気を、リアルかつ共感できる感情として伝えられたらいいですね。



キャスト

山賀晴代

Haruyo Yamaga

シェイクスピアは哲学者です。

ムダをそぎ落として、見せたいものを明確に見せる栗田さんの演出は、能楽堂にぴったりだと思います。まさにシェイクスピアの本質を描き出すこのシリーズに出演できる私は、本当に幸せです。シェイクスピアは読めば読むほど奥が深く、私の中では作家でもあり哲学者といったイメージも強い存在です。私自身、観ている方にその深くて広い世界観を伝えられるよう日々学んでいる最中です。

キャスト

横山道子

Michiko Yokoyama

言葉の美しさと深さを伝えたい。

「マクベス」以来、ずっと出演させていただいている。これまでには何人かでひとつの存在感を出す役が多かったのですが、今回は一人でひとつの存在感を出す役に挑戦します。シェイクスピアは難しい言葉も多い分、演じ手としては取り組み甲斐があるテーマです。舞台ではひとつひとつの言葉の持つ美しさや意味を表現したいと思っています。

キャスト

後藤信子

Nobuko Gotou

ひとつひとつ完成度をさらに高く。

冬物語は、前回2作と比較しても、踊りや音楽が少ない分、シンプルで洗練された舞台になると思います。シンプルだからこそ完成度が重要で、小道具にとっても集中力が求められる作品です。演出家のセンスをさらに引き立たせる小道具づくりと、演出家を刺激する「ないものを作る」ことで、素晴らしい舞台にしていきたいと考えています。

小道具

後藤信子

Nobuko Gotou

能の世界では主役はシテ、脇役はワキと言います。さらなる洗練が期待されるリュートびあ能楽堂シェイクスピアシリーズ「冬物語」で、檜舞台に上がる役者をシテ、それを裏方で支えるスタッフをワキと言い換えるなら、この両者が絶妙に調和することで、完成度の高い作品が生み出されています。

題字

泉田佑子

Yuko Izumita

書の中に息づく絶望と希望。

今回の作品が「冬物語」と決まり、表現のテーマになったのは、寒々しい世界の先に見え隠れする希望ということでした。題字を創作するにあたってまずイメージしたのは極寒の地や、時間の中に封印された悲しみ、バルカラーレ(舟歌)が流れる世界です。物語のメッセージやコアな部分を抽出した題字です。

題字

泉田佑子

Yuko Izumita

冬物語、ストーリーティジェスト
悲しみに閉ざされた冬の16年間、
破滅の中、一閃の希望が輝き出す。

場面はシチリア王オヘミア・シチリア王レオナード・ゼーランティーズとボヘミア王ポリクシニーズは幼なじみの復讐だった。しかし、レオナード・ゼーランティーズはボリクシニーズとシチリア王妃ハーマイオニーの浮気を疑い、嫉妬心から、王妃を捕縛する。王妃は獄中で女児を出産するが、レオナード・ゼーランティーズの指名で赤子は出生へ連れてされる運命に。そして王妃も裁判中に命を落してしまう。
やがて16年の歳月が過ぎ、ボヘミア王ポリクシニーズの息子フロリゼルは美しい娘に会う。その娘こそレオナード・ゼーランティーズによって捨てられた赤子、バーティタだったのだ。やがてフロリゼルとバーティタは結婚を決意。しかしボリクシニーズは二人の結婚を認めず、娘子は不仲に陥る。

題字

泉田佑子

Yuko Izumita

シェイクスピアの中でも隠れた名作と称され、破滅から調和と喜びへと向うロマンス劇「冬物語」。能楽堂の檜舞台でどんなシーンが展開するのか、今から公演が楽しみです。

題字

泉田佑子

Yuko Izumita

2

「冬物語」もうひとつの醍醐味。

舞台に舞う衣。

リュートビア能楽堂シェイクスピアシリーズには欠かせない、ひときわ目を引く衣裳デザイン。シリーズ前作「リア王」-影法師-に続いて舞台を舞う、デザイナー・時広真吾氏デザインのコスチュームも、大きな見所のひとつです。

「冬物語」衣裳デザインによせて

時広真吾

シチリアとボヘミアの時空を超えた物語を能楽堂での小宇宙で繰り広げてゆく「冬物語」。静謐と怒号、苦悩、歡び、絶望と赦し。冬から春へと向かうそこには必ず「愛」がある。万華鏡のような物語に合わせるように、佐賀錦、西陣織、シルクシフォン、ジョーゼット、タイシルク、ウールサージ等、多彩な素材を使用して衣裳は創られています。私の衣裳を五線譜に、踊る音符として役者たちがどのような音色を出し、演出家の栗田氏がどのような調べを紡ぎ出してゆくのか。「奏でる衣裳」それが私の今回の舞台のテーマです。



4



5

時広真吾 Shingo Tokihiro

コスチュームデザイナー。山口県生まれ。85年ファッションオフィス リック設立。91年オペラ「魔笛」の衣装デザインから、本格的な舞台衣装のデザインを手がける。国立劇場、ユニセフをはじめ、海外の劇場からの舞台の衣装の依頼を受ける。東洋の独自の美意識に裏打ちされたデザインは文学的な典雅さを湛えていると評価され、海外でのファンも多い。演劇、ダンス、演奏会から朗読劇まで幅広い分野で活躍している。また、各地で地元の人々とボランティアのショウを開催し、地域の活性化に努めている。

February 2005 "no-mad-ic project"
撮影:アーツスタイル

SPECIAL ISSUE

Noise 05

もはやアイデアだけでは評価されない
本質が問われる時代なってきている。

これからは本質を追究していく
作業そのものが作品になる。

5

April 2005 "新潟県中越地震チャリティー公演
～Noism05メンバー8人による振付作品ワークショップ～"
撮影:東浦一夫

5



Dancer's Voice
#3
井関 佐和子



Dancer's Voice
#4
島地 保武

ダンサーはやっぱり舞台に立って成長するものです。ですから今度の新しい手法による舞台はさらに成長できる場だと感じています。目標である色々なことができるダンサーになるためにも絶好の場だと感じています。

今回の新しい公演は3名の振付家によるものです。それぞれ個性の強い面白い舞台になるでしょう。今までにない身体の使い方なども取り入れた表現にひとりのダンサーとして興味深く取り組んでいきたいと思います。

Issey Ogata

SPOTLIGHT INTERVIEW

俳優 イッセイ尾形

日常って退屈だと書ったり、非日常を求めたりするけど、僕の芝居を観たり。
今度のワークショップを体験したりして、「普通っていいな」と感じてもらえば…。
人生の大半は日常、それを肯定できて楽しくなければこんないいことないじゃないですか。

イッセイ尾形（いっせーおがた）
俳優。1962年福岡県生まれ。71年に演出家・森田雄三と出会い演劇の世界に。80年からひとり芝居を開始し、「とまらない生活」シリーズ、「イッセイ尾形の都市生活カタログ」シリーズなど、普通の人々を演じ続けて独自の演劇世界を確立した。映画出演、小説、イラストなど、多岐にわたり活躍中。

「何のために何をする」というのじゃなく、
今この瞬間を「豊かだ」と感じるのが幸せ。

——イッセーさん、トイレ掃除のオカツ／頭の女性になって、コマーシャルに出ていますね。

「サニークリーン。午前中によく流れているみたい。セレブ編と二つあるの」

——最近はひとり芝居でもおばさまネタって多いですよね。好きなんですか？（笑）

「というか、男は、僕が男だから創っていてもどうなるか分かつてしまう。でも、女の人のことは分からないから、広がっていく。女性は男と違って、もう一つの世界がある感じがする。たとえ世界が終わっても、自分の王国を持っていれば新しい世界に飛び込んでいいける、そんな気がするんです。男なら、ああ、俺も終わりだって（笑）」

——なるほど。

「女の人のことは分からないけど、想像はできる。その分からない女性を演じることを借りて、自分の可能性をもつと追っかけたい。何が一番ステキかっていえば、自分が思

いもよらなかつたことができることでしょう。思っていることができたって、それは当たり前のことで…」

——その手掛かりの一つが女性ネタだと…。予定調和が嫌なのかな、とは感じていましたが。

「起承転結というか、ドラマツルギーというか、一応ネタには構造として書くんですが、そういうものを無視しても構わないのかな、と。いびつに起なら起、承なら承がずっとふくらんで続いても構わない。女性ネタはそれでも成立するちからを持っている。男だとやっぱり起承転結、ある意味理屈どおりきっちりと」

——女性の持つ感覚的なちからですかね。

「理屈だけじゃ世の中つまらんでしょというのを、僕は男より女性に感じるのね」

——それは女性の強さでもありますよね。

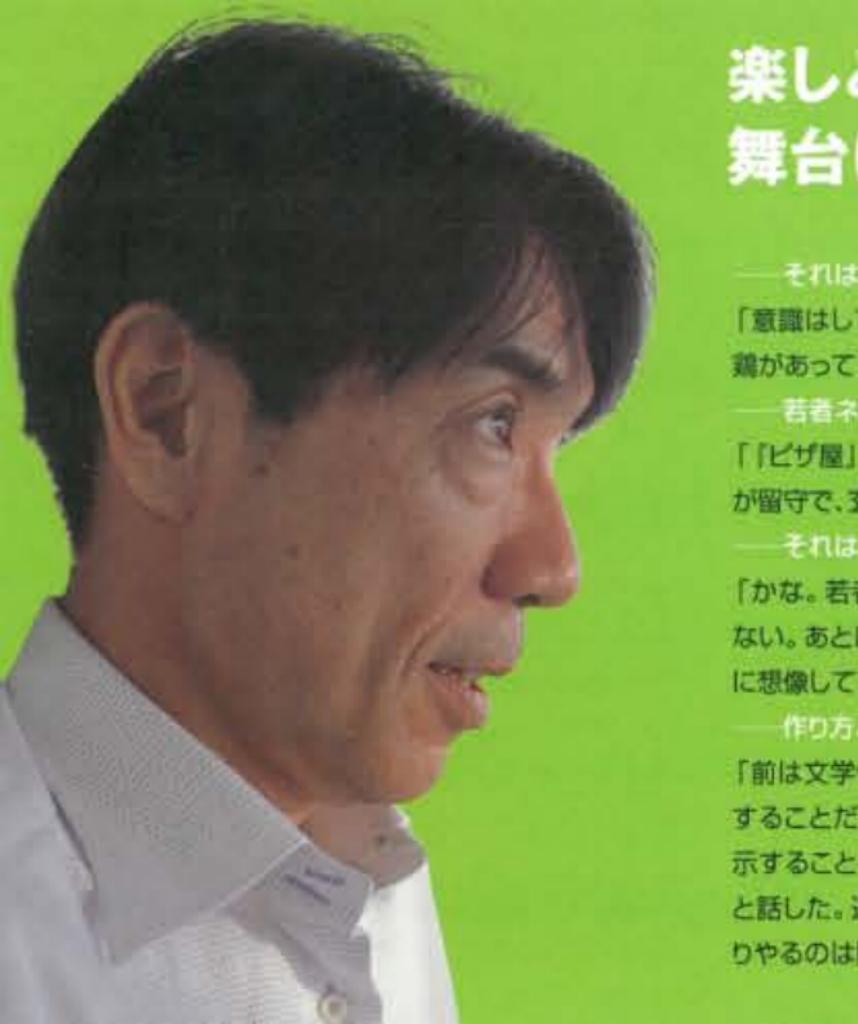
「しなやかな強さ。女人って振り子を自分の中に持っていて、その振れ幅の大きさが強さになっている。だから、



僕の芝居では女性はめげない。男はめげるヤツが多い（笑）。この間、「一人酒」ってのをやった。単身赴任に5年行って、ご苦労様って会社から家族旅行プレゼントされる。でも、家族は誰も来ない。で、夜中バーでウェーンとか言って人を刺しちゃう。

——危ないですね。でも、女性だったらこの時とばかりエンジョイしちゃうかもしれない（笑）。

「最近は中高年のネタも多いんです。もう一度生き直すみたいな再生ネタ」



楽しみは芝居だけでいいから、酒、やめました。 舞台に立ち続け、思いもよらぬものに出会いたい。

——それは時代と関係あるんですか。

「意識はしていないけど、後から考えれば、自分の中に風見鶏があって、何となくこっち、と」

——若者ネタも少し減ってますね。

「『ピザ屋』ってのがあって、配達行くんだけど注文した人が留守で、玄関先でいつまでも山田さん、山田さんと」

——それは不条理ネタ。

「かな。若者は困らない。それからどうなるか、承転結がない。あとは見えない登場人物たちが作ったり、お客様に想像してもらったり」

——作り方、以前と少し変わってきたね。

「前は文学性を入れて起承転結つけるのがネタを豊かにすることだと思ってやってきたけど、もう一度、起だけ提示することもやってみようかと、この間演出の森田(雄三)と話した。通常、舞台上に上がらないごく普通の人物ばっかりやるのは同じなんだけどね」

——その延長が普通の人と一緒に舞台を作ろうという今回のワークショップと公演ですか。

「うん。企画は自然発的に出てきたんだけど、普通の人って実はものすごく複雑で、それがむき出しになったときの存在感って、作り物ではかなわない。演じようと意図したもののはつまらないけど、何も用意してなくて、困り果てた挙句にその場でとっさに出てくる言葉が面白い。この人いつたい何なんだろうって、お客様に想像してもらえばいい。ワークショップではまず、生身の自分をさらけ出せるようにすることから始めます」

——誰でも参加できるんですか。

「できます。全くの未経験者でOKです。小倉では74歳のベンキ屋さん、11歳の小学生が参加してくれました。新潟では夜4日間のワークショップ、参加者と僕と一緒に公演が2回。おまけに僕のひとり芝居もあります(笑)」。

僕が舞台に上げるのは、誰しもが思い当たる所のある、普通の人たち。広がりを持たせるにはその方がいいし、そしてホントにすごいのは普通の人たち。

——ワークショップに参加した人はすべて舞台に立てるんですか。

「どうしても嫌じゃなかったら(笑)。ただ、ワークショップを体験したら、困り果てて出たいなんて思わないかもしれない(笑)。でも、それが大事。現実では困り果てることってあまりなくて、そうなれば普通逃げ出でてしまふ。でも、今回は逃げれない。向き合わなければならない。真剣に向き合うと、とんでもないものが生まれたりする」

——台本はないんですか。

「シチュエーションは与えます。「ドイツ語と日本語しかしゃべれない二人の会話」とか。それを何にするかはワークショップをやってみないと分からない。「面白い言葉」が参加者

から出たら、それに対して僕が台本を作るかもしれないけど」

——それで成立するんですか。

「面白くするのは簡単。そこは演出の森田が責任を持ってやります」

——どんな方に参加してもらいたいですか。

「今日、車で来たら、小千谷あたりの田んぼがすごくきれいだった。きちんと田植えがしてあって。そういうふうにきちんと働いて、生活している人に僕は出会いたい」

——以前の参加者の反応は。

「言葉にならないくらい興奮していましたね。きっと自分の可能性、思いもしなかった自分の豊かさに気づいたんだと思う。それに立ち会うことは僕にとっても刺激になるんです」

開き手／青柳聰／脚本／原正

INFORMATION

創作ワークショップ

【演出家・森田さんの“イッセー尾形のできるまで”】
2005年10月25日(火)～28日(金) 各日18:30～21:30

参加費 通し: 4,000円(1日のみの参加も可 料金: 1,000円。見学料1日 500円)
参加申込・お問い合わせ: りゅーとぴあ事業課 025-224-7000 申込〆切: 8/28

ワークショップ参加者十イッセー尾形公演
【イッセー尾形とフツーの人々】
2005年10月29日(土) 19:00開演
30日(日) 13:00開演
各日全席自由 2,000円

イッセー尾形ひとり芝居

【イッセー尾形のとまらない生活スペシャル】
2005年10月30日(日) 17:00開演
全席指定 4,000円
ご予約・お問い合わせ:
りゅーとぴあチケット専用ダイヤル 025-224-5521

9/1
[木]
チケット専用

【イッセー尾形とフツーの人々】
【イッセー尾形のとまらない生活スペシャル】





Noism05 Report
Noism05 Triple Bill in Osaka 07.23 at Theater BRAVA!
in Tokyo 07.28-31 at Setagaya Public Theatre

新潟から、さあ大阪・東京へ。

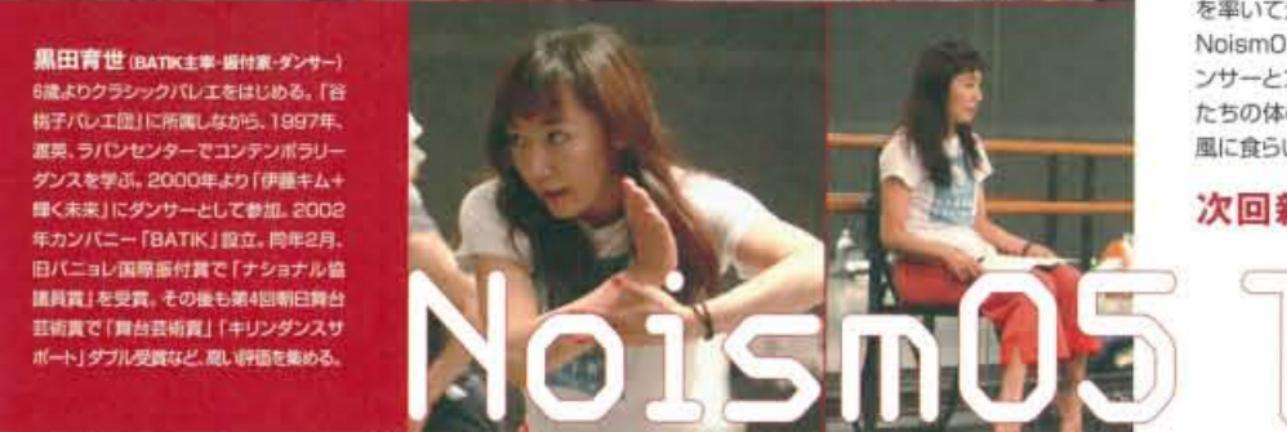
黒田育世

イメージは「これが最後の一手」。

今回は、生楽曲で踊るという演出でした。タイトルである「ラストバイ」は楽曲の名前であるとともに、私自身の作風である「これが最後の一手」という出し切り感や完全燃焼するイメージをストレートに表したもので。総勢12名のダンサーが躍動するステージは、エネルギーに溢れ、疾走感も増幅していたと思います。ダンサー全員が体の中にある「ただ踊りたい」という本能に任せて踊る。これをやって何になるの?と問われるような場面でも必死に踊り続ける。愚直なまでのダンスを目撃してもらえたのではないかでしょうか。私自身、カンパニーを率いて走り続けて3年を経て、いろいろなものが吹っ切れて霧が晴れたような状態で、Noism05のメンバーと出逢えたのはすごくいいタイミングでした。新たな境地で新たなダンサーとコラボレーションする事で、私自身にとっても得るものが多くたんですね。ダンサーたちの体の強さはもちろんですが「ます、やってみる」という積極的な姿勢と、何より私の作風に食らいついで、遊んでもくれたことが、素晴らしい舞台の結果に繋がったのだと思います。

次回新潟公演 | Noism05(新作) 2005年11月25日(金)・26日(土)・27日(日) → 9月17日(土)チケット発売開始

Noism05 Triple Bill → Osaka & Tokyo



黒田育世 (BATIK主宰・振付家・ダンサー)
6歳よりクラシックバレエをはじめる。「谷
橋子バレエ団」に所属しながら、1997年、
渡英、ラバインセンターでコンテンポラリー
ダンスを学ぶ。2000年より「伊藤キム+
舞く未来」にダンサーとして参加。2002
年カンパニー「BATIK」設立。同年2月、
旧バニヨレ国際振付賞で「ナショナル振
付賞」を受賞。その後も第4回新日本舞台
芸術賞で「舞台芸術賞」「キリンダンスサ
ポート」ダブル受賞など、高い評価を集める。

新潟のステージを終え、Noism05は、いよいよ大阪・東京公演へと向かいます。Noism05と3人の振付家によるコラボレーションはどんな化学反応を生み出したのか。2人の振付家を直撃します。

アレッシオ・シルヴェストリン

ダンサー個々のチャレンジが舞台で輝き出す。

Noism05に対しては、振付前と今では大きな手応えの違いを感じています。それは決してネガティブなものではなく、新たな発見といったほうが正しいでしょう。人種や国籍の違い、文化の相違というものだけではなく、ダンサーひとりひとりが持つ独自の動きを尊重することで、舞台は当初の予想を超えてさらに魅力的なものになっていったからです。私の作品は、かつて手がけた「青ひげ公」のサイドストーリーをテラーのナレーションやBGMとともに、立体的に作り上げていくのですが、個々の動きではなく、個々が集まった時の全体の感覚を大切に演出しています。しかし、同じ言葉で説明してもダンサーそれぞれは自分の感覚で意味を理解し体で表現します。その違いがとても大切なことです。それらいくつもの表現がレイヤー(層)となって積み重なり全体像を構成する。個々の独立したエッセンスを繋げていく作業はとてもクリエイティブなものでした。3人の振付家のコラボレーションという初めての試みもエキサイティングで、貴重な経験になったと思います。



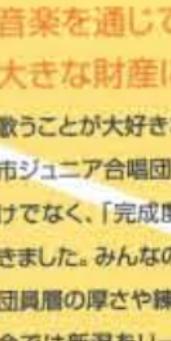
アレッシオ・シルヴェストリン (森村寛・ダンサー)
イタリア・ヴィチェンツァ出身。モンテカルロ市グレー
ス王妃ダンスクラシック・アカデミー、およびスイス・
ローザンヌ市のルードラ・ベシャール学校にて学ぶ。
1999~2002年、ウィリアム・フォーサイス率いる
フランクフルトバレエ団に所属。2003年、ソウル
で開催されたModefaフェスティバル、また7月には
「1322PROJECT」にて、金森穣、井関佐和子らと
横山紀信スタジオにて作品を発表。2003年より、
フリーの振付家、ダンサーとして日本に滞在中。



新潟を代表する少年少女合唱団

新潟市少年少女合唱団リーダーと新潟市音楽文化会館を拠点に活動し、美しいハーモニーで多くの人たちを魅了してきました。この夏、行われる韓国の合唱団との交流演奏会では、ますます活躍が期待されます。レッスンの現場を訪ねてみました。

「新潟市ジュニア合唱団」は、「新潟市ジュニアオーケストラ教室」、「新潟市ジュニア邦楽教室」とともに、(財)新潟市芸術文化振興財団が主宰する青少年のための音楽教室のひとつです。メンバーは、歌の大好きな小学2年生から高校3年生までの約90名で構成され、新潟市音楽文化会館で毎週末、レッスンを行っています。本格的な指導のもとで育まれたその実力は「新潟を代表する合唱団」と称されるほど。清らかなコーラスは、定期演奏会をはじめ、さまざまな演奏会で聴くことができます。ちなみに今年は7月の定期演奏会で、ビバルディの『四季』や、合唱ミュージカルなどを届けてくれる予定です。



■指導者
海野 美栄
(うみのみえ)

出会いがあり、ステージ体験など日常では得られない経験もできます。例えば、お客様からいただく拍手。その感動は、子どもたちの大きなエネルギーになっているんですよ。昨年、韓国のホールでの交流演奏会には2,000人ものお客様が来られて、日本の童謡を歌つたのですが聴衆から熱烈な拍手がおこり、子どもたちもとても感激した様子でした。音楽って、世界共通の“心を開く”ためのコミュニケーションツールなんですね。「気持ちを伝える」という点では、ソロでも、合唱でも変わりはありませんが、みんなであわせて歌うことで、「聴く人が満足を得られる感動」を与えることができるんです。このような様々な体験を通して、子どもたちは成長を続けています。将来、音楽の道へ進む、進まないは本人次第ですが、今後も楽しく音楽と触れ合い、豊かな人生を過ごしてもらいたいと願っています。



■高校3年・メゾソプラノ
霜鳥 真佑
(しもとりまゆ)

とても深くて面白いと思うんです。それに「真剣にやるとときはやる」という集中力が身につきました。私は今年の夏で合唱団を卒業になるけど、今までの経験を無駄にしたくないし、これからも音楽とは何らかの形で関わっていきたいと思っています。

音楽を通じて得る感動が大きな財産になります。

歌うことが大好きな子たちが集まった“新潟市ジュニア合唱団”は、単に「好き」というだけでなく、「完成度の高い合唱」を目指してきました。みんなの頑張りはもちろんですが、団員層の厚さや練習環境のおかげもあって、今では新潟をリードする合唱団に成長しました。またここでは、いろいろな人や曲との

出会いがあり、ステージ体験など日常では得られない経験もできます。例えば、お客様からいただく拍手。その感動は、子どもたちの大きなエネルギーになっているんですよ。昨年、韓国のホールでの交流演奏会には2,000人ものお客様が来られて、日本の童謡を歌つたのですが聴衆から熱烈な拍手がおこり、子どもたちもとても感激した様子でした。音楽って、世界共通の“心を開く”ためのコミュニケーションツールなんですね。「気持ちを伝える」という点では、ソロでも、合唱でも変わりはありませんが、みんなであわせて歌うことで、「聴く人が満足を得られる感動」を与えることができるんです。このような様々な体験を通して、子どもたちは成長を続けています。将来、音楽の道へ進む、進まないは本人次第ですが、今後も楽しく音楽と触れ合い、豊かな人生を過ごしてもらいたいと願っています。

13



グループレッスン

新潟KIDSの
温んだハーモニーが、
韓国との架け橋に

“新潟市ジュニア合唱団”は、8年前から韓国の“ソウル市少年少女合唱団”と交流を続けてきました。今年は8月18日にソウル市のチムン・アートホールで、21日にはリュートギアコンサートホールで交流演奏会が予定されており、国を越えた少年少女の歌による交流に注目が集まっています。



日本・ソウル市での韓日交流演奏会から

日本ジュニア合唱団 サマーコンサート2005
2005年8月20日(土) 16:00開演 リュートギアコンサートホール
出演:ソウル市少年少女合唱団、新潟市ジュニア合唱団
一般:700円 高校生以下: 500円(全席自由) 7/24(日)発売場所
ご当地 お問い合わせ:リュートギアコンサートホール 025-224-5821

APRICOT report

これまで「小公子」「赤毛のアン」「砂の妖精」「町から来た少女」「お気に召すま」と公演を重ねてきたAPRICOT。少年少女の集団ながら、着実に成長を遂げ、本格的な表現力を身につけるようになっています。次回作は「小公主」の再演、熱のこもった稽古場を訪ねました。

子どもたちの未知的な可能性が舞台上に大きな夢を広げています。

アブリコット企画・脚本・演出
 笹部 博司

子どもたちを中心とした集団で、どういう芝居が可能なのか挑戦したかった。それが、このアブリコットを設立したきっかけです。今年の秋で結成7周年を迎ますが、手応えとしてはとてもおもしろい。大人はどこかで自分の限界を知らされるけど、子どもというのは底をみていない。自分の限界を体験していないから、どこまでも潜っていく。人間はイメージの生き物だから、自分はこんなものだと思ったらそこまでだけど、子どもはどこまでもイメージを広げていく。その未知的な可能性に、夢があるんです。演技というのは結果ではなく、限界に挑戦する行為だから、そこがおもしろいところですね。アブリコットという集団がみんなに愛され、そこから醸し出される匂いとか、空気とかを、生き生きと魅力的に感じてもらえるような、そんな団体になっていけたらと思います。



笹部 博司(ささべ ひろし)
新潟市民芸術文化会館演劇部門芸術監督。2000年の「町から来た少女」以来、演劇スタジオキッズコースAPRICOTの企画・脚本、また03年「赤毛のアン」からは演出も担当。東京では演劇制作会社メジャーリーグを主宰し、白石加代子「百物語」シリーズ、「身毒丸」「グリーグス」「トスカ」など多数の舞台作品を企画・製作している。

匿名希望さん

男性ばかりが集まるお芝居は、妙に個性が浮き出て面白かったです。

小塚 里美さん(三条市)

歌わなくとも、踊らなくても、市っちゃん最高!

匿名希望さん(新潟市)

役者さんの気迫が伝わってきて「生」はやっぱいいなあと実感しました。また機会があったら是非観たいですね。

「国立パリ管弦楽団」
指揮／ミシェル・ブランソン 2005.4.10(日)コンサートホール

多賀 章弘さん(新潟市)
今まで、りゅーとぴあでの演奏会には10回以上来ていますが、今回はとてもよかったです。とにかく素晴らしいのひとことです。

匿名希望さん

目のさめるような音色、バイオリンの高音は今まで聴いたことのない

えもないわれぬ響き。

サイコーです! 生きていて良かった。

匿名希望さん(加茂市)

フランスの香りがしました。

新潟に来てくれてほんとうにありがとう。

石橋 早さん
石橋 美生さん(新潟市)

ご協力ありがとうございました。Thank you♥

◆新潟大学管弦楽団の皆さん

部長・笠原 祐樹さん(前列右)

フランス人はカッコいいです。日本人ではあはいかないなと思いました。決まったとおりに演奏しないで、わざとくずして楽しみながらも決めるところはビシっと決めるところは、さすがプロだなと感じました。

佐藤 謙亨さん(後列右から2人目)

奏者が一人ひとり気持ちよく演奏しており、自然とその雰囲気の中にに入っていました。フランスの音楽を生で聴いたのは初めてですが、フランスらしさを体全体で感じることができ、非常に満足です。

山本 浩樹さん(前列左)

のびのびと演奏している様子が印象的でした。私も大学でオーケストラをやっていますが、学生とプロの音楽への取り組み方、姿勢の差を垣間見た気がします。

匿名希望さん

目のさめるような音色、バイオリンの高音は今まで聴いたことのない

えもないわれぬ響き。

サイコーです! 生きていて良かった。

匿名希望さん(加茂市)

フランスの香りがしました。

新潟に来てくれてほんとうにありがとう。

石橋 早さん
石橋 美生さん(新潟市)

ご協力ありがとうございました。Thank you♥

特典

■ アイスサービス

夜

デザートサービス

Tenmi Dining

新潟市学校町通二番町5292-2 朝日ビル1F
11:00~14:00 TEL.025-210-9266
17:00~22:30(ラストオーダー)日曜定休

りゅーとぴあでコンサートやお芝居を観るなら「パートナーシップ」も楽しまなくちゃもったいない! 公演チケットを提示するだけでお得なサービスが受けられます。現在42店舗で実施中!
詳しくは <http://www.ryutopia.or.jp/ps> まで!



特典

■ アイスサービス

夜

デザートサービス

Tenmi Dining

新潟市学校町通二番町5292-2 朝日ビル1F
11:00~14:00 TEL.025-210-9266
17:00~22:30(ラストオーダー)日曜定休

りゅーとぴあでコンサートやお芝居を観るなら「パートナーシップ」も楽しまなくちゃもったいない! 公演チケットを提示するだけでお得なサービスが受けられます。現在42店舗で実施中!
詳しくは <http://www.ryutopia.or.jp/ps> まで!

IMPRESSION VOICE

感動の余韻

終演後のオーディエンスたちの“感動の余韻”はいかに…。

能楽基礎講座 >> 2005.6.5(日) 能楽堂 第2回「ちまたのうわさ1」

奥田ヒサさん(新潟市) 人生の教訓を沢山いただきました。

寺尾 智美さん(新潟市)
これまで能は観たことありませんでした。でも馬場さんの文章を読んだことがあって、お話を聞いてみたくて参加しました。とても興味深くて面白かったです。能の公演もぜひ観てみたいですね。

天野クニ子さん(新潟市)
世阿弥の心が時空を超えて、私たちの心に迫ってくるようでとても素晴らしいでした。

五十嵐 美奈子さん(阿賀野市) 左
最近特に興味があって、通し券を買いました。本で読んでも分からなかったことが馬場先生の語りで聞くとすごく分かりやすくて、実際に能を見てみたりました。

間 雅美さん(東京都) 右
能の中でも特に衣装とか舞台に興味があります。映像も交えた講座でとてもおもしろかったです。

高橋愛子さん(新潟市)
指揮者の左手の指の美しさに感動!
感動のひとときでした。
再度聴きたいと思いました。

川上 良子さん
今開演された「新世界より」がすごく好きで、いろいろな場所に聞きに行っていました。毎日も素晴らしい演奏でした。「モルダウ」を生で聞いたのは初めてですが、感動して涙が出てきました。

藤村祐子さん(新潟市)
大学生の娘と一緒に観ました。30年来の三島由紀夫ファンですが、演劇の舞台は初めてでした。舞台芸術、俳優、台詞の美しさは想像以上でした。私の中で三島は蘇り、普遍のものになったような気がします。

スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団
「モルダウ」「新世界より」>> 2005.6.21(火)コンサートホール

辻久子さん(新潟市)
お洒落が感じられるコンサートでした。管楽器の哀愁を帯びた音色はさすがですね。とても楽しい時間でした。

小栗なみかさん(左)
袖説が手頃だったのと、知っている曲を演奏するということで、初めてクラシックの演奏会に来てみました。CDで聞くのと違い、音の強弱を体で感じることができてすごく良かったです。

木澤砂織さん(右)
初めてのクラシックでしたが、あまりにも感動して歓喜が立ちました。今までロックやポップスのコンサートしか行ったことがなかったのですが、クラシックが身近なものになりました。

永井アツ子さん(新潟市)
いつもの演出、度肝を抜かれました。すばらしい!

西片 麻理絵さん(新潟市)
前回公演よりも度かったです。特に「弱法師」の藤原さんの演技がすごくて、思わず泣いてしまいました。鶴川幸雄演出の作品は、いつも「やられたな」と思います。今回も満足です!

近代能楽集
>> 2005.6.24(金)~26(日)劇場
「卒塔婆小町」「弱法師」

森野恵里佳さん(新潟市)
「弱法師」の狂気の不気味さがよかったです。言葉が熱を持って、炎の熱さを表現しているところも印象的でした。舞台が強すぎて観終わった後の「酔い」も残ったけど素晴らしいでした。

高橋 繁實さん
キャストが変わってまた違った印象がありました。三島作品には以前から興味があり、独特の美をうまく表現した舞台だったと思います。藤原さんの演技も鶴川さんの演出も素晴らしいですね。

ご協力ありがとうございました
Thank you !

生きていって良かった!
明日からまたがんばります。

藤野友紀さん(鶴岡市)
読むたびに発見がある三島作品。納得のいく演出で見せてくれるのは鶴川さんだけのような気がします。

塚野秀子さん(五泉市)
舞台が強すぎて観終わった後の「酔い」も残ったけど素晴らしいでした。

ご協力ありがとうございました
Thank you !

Partner Shop 34 CONCERTO

月替り
お楽しみ
特典

クラシック・ファクトリー
コンチェルト

新潟市東掘通二番町488-2 TEL 025-225-0300
営業時間 10:00~19:30 定休日なし
りゅーとびあでコンサートやお芝居を観るなら「パートナーシップ」も楽しめなくちゃもったいない!公演チケットを提示するだけでお得なサービスが受けられます。現在42店舗で実施中!
詳しくは <http://www.ryutopia.or.jp/p6> まで!

RYUTOPIA ENTERTAINMENT CALENDAR 8・9・10/2005 今すぐチケットをゲットできる公演をチェック!!

▶ 公演日時 ■ 演奏曲目など C コンサートホール T 劇場 N 能楽堂

主催:

財団

法人

新潟市芸術文化振興財團

ぶんらく講座特別版 「おもろいで文楽2」N

出演／竹本文字久(大友)、鶴澤清二郎(三味線)、
柳竹勘十郎(人形)他

第一部
「こどもvsおとな体験講座」
全席自由 小中学生500円
一般1,000円

第二部
「文楽クローズ・アップ!」
全席自由1,000円
►8/20(土)①11:00開演 ②15:00開演

オルガンサマーデイズ2005
「オルガン探険ツアー」C

内容／オルガン演奏(ゲスト:小野なみ)、
楽器説明、内部見学、オルガン試奏
1人500円・3名1,000円
整理券、往復ハガキでお申し込みください。
締切8/10(水)必着
►8/26(金)①11:00 ②14:00

オルガンサマーデイズ2005 「オルガンコンサート」C

出演／和田千子(リード・ピアノ等)等
全席自由／入場無料(当日直接会場へおいでください。乳幼児も入場できます)
►8/27(土)14:00開演

観世流 能楽鑑賞教室 C

■第1回 能「百万」(ダイジェスト)
■第2回 能「天鼓」(ダイジェスト)
他「舞の習い」発表、能のお話。

「謡」の種古体験、装束着付の実演
S席2,500円(学生1,500円)
A席2,000円(学生1,000円)
1,2歳通し券
S席4,500円 A席3,500円
►9/3(土)①13:00・②16:00開演

ダネル弦楽四重奏団

内容
S席3,000円 A席2,000円
B席1,500円
S席ペア券5,000円(枚数限定)
►9/8(木) 19:00開演

ヴェニス・バロック・オーケストラ C

オール・ヴィヴァルディ・プログラム
■ヴァイオリン協奏曲集「四季」他
アンドレア・マルコン(指揮)
S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円
►9/15(木)19:00開演

新潟市ジュニアオーケストラ教室 C

第24回演奏会 ►9/18(日)14:00開演
■サンサンク:交響曲第3番「オルガン付」他
全席自由／入場無料・要整理券

わらび座 ミュージカル 「銀河鉄道の夜」C

S席5,000円 A席4,000円
►9/21(水) 18:30開演

アンドレア・マルコン オルガンリサイタル C

G.フレスコバルディ/トッカータ第5番
A.スカルラッティ/トッカータ・長調 他
S席3,000円 A席2,000円
►9/23(金・祝)16:00開演

第33回 新潟定期演奏会/東京交響楽団 C

■ラウタフーラ:アボテオシス
■シェリウス:ヴァイオリン協奏曲
■ストラヴィン斯基:バレエ組曲「火の鳥」(1945年版)
ミコ・フランク(指揮)
バイバ・スクライド(ヴァイオリン)

出演／佐藤B作、平田満、
あめくみちこ、佐渡聰
S席7,000円 A席6,000円 B席5,000円
C席4,000円 D席2,000円
►10/8(土) 19:00開演
10/9(日) 14:00開演
※8/5発売

東京交響楽団「超名曲」ランチタイム・コンサート オーケストラを聴いてみよう! C

■ビゼー:歌劇「カルメン」より前奏曲 ■エルガー:行進曲「威風堂々」第1番 他
vol.3 「歌手・歌劇」
出演／大友直人(指揮・お話)、
山宮るい子(ハーフ)、
東京交響楽団、
倉岡智一(美術家・衣裳家)他
全席指定1,500円
►10/12(水) 19:00開演 ※8/6発売
※7/28発売

第53回新潟市芸能まつり メインステージ 新潟讃歌PART4 C

全席自由2,000円 ►10/23(日) 14:00開演 ※8/3発売

劇団東京ヴォードヴィルショー 「竜馬の妻とその夫と愛人」C

出演／佐藤B作、平田満、
あめくみちこ、佐渡聰
S席6,000円 A席5,000円
►10/23(日) 17:00開演
※8/25発売

オペラレクチャー&サロンコンサート

vol.3 「歌手・歌劇」
出演／高橋義子(ソプラノ)、所谷直生(テノール)、
笠森美里(メゾン・プラノ)、小鉄和広(バリトン)、
倉岡智一(美術家・衣裳家)他
全席指定1,500円
►10/26(水) 12:45開演
※7/28発売

～新潟グランドホテル 特別宿泊プラン～

りゅーとぴあ
イベント宿泊
プラン

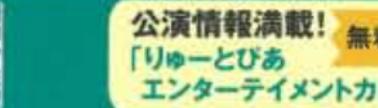


りゅーとぴあまでの片道タクシチケットと
コンサート終了後のお弁当が付いたお得な宿泊プラン!

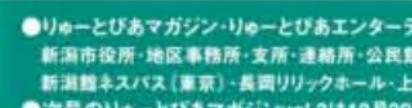
【料 金】
一泊 お一人様9,800円(税・サ込)
●上記料金は税込代・タクシーパス運賃車券、
松花堂弁当・ご精食が含まれております。
●2名利用の場合はツインルームも承ります。
【特 典】
会館までのタクシーパス運賃車券と
コンサート終了後に松花堂弁当をご用意。
●フロントでの引渡しとなります。また、翌日ご出発時の引渡し変更も承ります。

お問い合わせ
新潟グランドホテル 025-228-6112
TEL.025-224-5521
受付時間／11:00~19:00 7~10月の休館日は7/11・7/25・8/8・8/22・9/12・9/26・10/11・10/24

りゅーとぴあチケット専用ダイヤル **TEL.025-224-5521**



公演情報満載!
無料配布中
**「りゅーとぴあ
エンターテイメントカレンダー」**



●りゅーとぴあマガジン・りゅーとぴあエンターテイメントカレンダーは、りゅーとぴあ新潟市民芸術会館のほか、次の所にも置いてあります。
新潟市役所・地区事務所・支所・連絡所・公民館・コミュニケーションセンター・みなとぴあ・朱雀メッセ・新潟ふるさと村アピール館・新潟県立図書館・
新潟駅バス(東京)・新潟リックホール・上越文化会館・三条中央公民館・柏崎市市民会館・小出郷文化会館 ほか県内・県外文化施設など
●次号のりゅーとぴあマガジンvol.3は10月20日発行予定です。

木の実ナナ主演 ●古典の傑作落語がモチーフ。江戸を生きた女の笑いと涙、波乱万丈の人生!

音楽劇 おんなの落語

8/24(水) 18:30開演
■りゅーとびあ劇場 全席指定¥6,500
(税込)
6/26(日)一般発売 ※未就学児童入場不可



森山直太朗

7/15(金)
18:30開演
■新潟県民会館
全席指定¥5,775
(税込)
6/18(土)一般発売
※未就学児童入場不可



「おんなの落語」・森山直太朗・大黒摩季 先行予約

郵便振替にて、ご希望公演のチケット枚数分の代金+発送手数料¥600を下記までご送金ください。
口座番号:00680-6-27931
加入者名:キヨードー北陸
通信欄:希望公演名、公演日、会場、
希望枚数、「りゅーとびあ・マガジン」
申込期間:6/3(金)消印有効

郵便振替用紙は、郵便局備え付けの白地に青い文字の用紙をご使用ください。
※パンククラブ KCC(キヨードー北陸会員)にご入会の方は、
そちらのご予約をご利用ください。
※お席の場所は会場全体にて抽選になります。
※規定枚数をこえた場合、一般発売日前に送料(¥600)を差し引きご返金させていただきます。
※複数公演をご希望のお客様は、公演ごとに振込用紙を分けてご送金ください。各公演ごとに必要となります。

コンサートホールに降り注ぐ、「冬ソナ」のピアノの音。
あの感動がRyuの歌声と共に甦る。



Ryu

アンプラグド・ライブ2005
ユメ~櫻を瀧らす涙

8/12(金)
18:30開演

■りゅーとびあ
コンサートホール
全席指定¥6,800
(税込)
※未就学児童入場不可

Ryu 先行予約

郵便振替にて、ご希望公演のチケット枚数分の代金+発送手数料¥600を下記までご送金ください。

口座番号:00580-8-81237

加入者名:サンライズプロモーション北陸

通信欄:Ryu新潟公演、希望枚数、「りゅーとびあ・マガジン」
りゅーとびあ他、ブレイガイドもしくはキヨードー北陸チケットセンターにて発売中
申込期間:6/3(金)消印有効

※振込用紙は、郵便局備え付けの白地に青い文字の用紙をご使用ください。

※パンククラブ KCC(キヨードー北陸会員)にご入会の方は、そちらのご予約をご利用ください。

※お席の場所は会場全体にて抽選になります。

※規定枚数をこえた場合、一般発売日前に送料(¥600)を差し引きご返金させていただきます。

※複数公演をご希望のお客様は、公演ごとに振込用紙を分けてご送金ください。各公演ごとに必要となります。

加古 隆 ピアノソロリサイタル
「響きのカンバス」

【予定曲目】組曲「映像の世纪」より「パリは燃えているか」／「白い巨塔—sublime」／「ノルウェーの森」／「アボカドスー暗示録」より「エンブティー・トランス」



6/11(土) 18:00開演 ※未就学児童入場不可

■りゅーとびあ劇場 全席指定¥5,250(税込)

りゅーとびあ他、ブレイガイドもしくはキヨードー北陸チケットセンターにて発売中

●total information

キヨードー北陸チケットセンター

TEL.(新潟)025-245-5100

サンライズプロモーション北陸チケットセンター

TEL.(新潟)025-246-3939 (Ryu公演)

ロバート・キャバ、沢田教一、土門拳ら世界の写真家が撮影した「時代の瞬間」。



好評開催中! 9/4(日)まで

新潟県立万代島美術館 (未就学児童無料)

一般 大・高校生 小・中学生

800円 500円 300円

※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は観覧料無料

です。受付でご提示ください。また、土・日・祝日は小・中学生は観覧料無料となります。

主催:新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟、

「地球を生きる子どもたち」新潟実行委員会、

(財)日本テレビ文化事業団

協賛:新潟運輸グループ

協力:(財)新潟県国際交流協会

宝塚歌劇星組公演

10月8日(土)

開演 昼の部/14:00 夜の部/18:00

10月9日(日)

開演 昼の部/12:00 夜の部/16:00

会場:新潟県民会館

S席 6,500円(税込) / A席 5,500円(税込)

7/24(日) 9:00 ~

電話予約・お問合せ

025-245-4413

(平日9:30~18:00)

TeNYピアノシリーズ inりゅーとびあコンサートホール

2000年ショパン国際コンクール優勝
ユンディ・リ ピアノリサイタル

9月30日(金) 19:00開演

S席 10,000円(税込) / A席 8,000円(税込) / B席 6,000円(税込)

発売中

Kobayashi

アラタ・セイジ 梶剛之 ピアノリサイタル

11月2日(水) 19:00開演

全席指定 4,500円(税込)

発売中

上原 彩子 ピアノリサイタル

12月13日(火) 19:00開演

全席指定 5,500円(税込)

7/23(土) 発売

上原 彩子 ピアノリサイタル

2002年チャイコフスキーコンクール優勝

上原 彩子 ピアノリサイタル

12月13日(火) 19:00開演

全席指定 5,500円(税込)

発売中

TONY

<http://www.teny.co.jp/>